

火燒輪和、大山及び三峰の村組織、代々木村の今昔、刀鍛冶の話、富士講の話、隅田川の船等其席上で報告された廿編の講話が收められて居つて、或は土俗學の上から、或は人文地理學の方面から、或は社會史の方面から、それ〴〵他には求められない面白い材料が含まれて居る。説明を補ふために地圖が挿入してあるのは、何よりも喜ばしい(四六版二六四頁、大岡山書店、價二・五〇)(以上中村)

●堺市史講演集

本書は昨年十一月堺市役所に於て同市史資料展覽會と同時に開催せられた同市史講演會の講演集であつて文學博士新村出氏の「堺港と歐洲人」及び文學博士三浦周行氏の「歴史上の大堺」の二篇を收め、巻尾に附録として同市史資料展覽會の經過概要を載せたものである。「堺港と歐洲人」は堺港と南蠻貿易、堺に於ける基督教布教の狀態、江戸文學に反映せる堺の對外關係の三節に分ちて堺の對外史を述べ、「歴史上の大堺」は堺の發祥地、堺の平和的發展、南朝と堺、堺の爭奪戰、對明貿易と堺、堺市民の

努力、堺の繁榮、堺の自治體、堺の文化、近世の堺の十節に分ちて繁盛時代の堺の狀況を述べたもので、共に豊富なる資料に依つて各自得意の方面から觀察考究せられた頗る興味の饒かな講演である。加ふるに其の表装は瀟洒紙質も優良で、一見快感を與へる。圖版には一五八五年ヴェネチヤ刊日本布教年報に見えた堺の記事と南蠻屏風足利時代堺港の圖とが載せられてゐる。(菊版一〇六頁、堺市役所發行、非賣品)

●國史教授資料(第一輯)

名古屋温故會は從來逐次地方の史料及び史蹟の繪葉書を發行し來りしが、今又國史教授資料第一輯を頒てり。本輯に收むるところは足利義教織田信長の畫像長篠合戦繪屏風、清洲古城圖の繪圖を始めとして織田達勝及び豊臣秀吉の制札、信長及び秀吉の朱印狀徳川家康の皆濟狀大石良雄の書狀の文書、新井白石自筆の折筭柴の記の圖書秀吉小牧陣使用の器物、清洲城址、津島神社本殿、平手政秀父子の墓に至る十五枚の寫眞版にして一々簡傑なる

解説を附し且つ文書等の讀み本を添へたり。是等史料及び史蹟の範圍は殆ど愛知縣下に限られたるも、これを全國的に視て亦國史教授上重要な價値を有するもの、吾人は同會の將來益續輯して斯界に寄與せられんことを望んで已まざるなり。(名古屋温故會發行、價不明)(以上松野)

◎Central and Local Finance in china

Chuan Shi Li 著

本書は Columbia 大學の研究報告書として支那に於ける中央政府地方政府の國家財政の情況及び其の相互關係を研究したるものにして分つて七章をす、第一章には支那に於ける各種財政關係の官署機關の組織を叙し第二章には過去及び現在に於ける支那の政治界の財政的關係を記し第三章にて國民經濟と地方經濟との分離を論じ、第四章にて英獨日米諸國の國民經濟地方經濟の系統を比較研究の立脚地より詳説し、第五章第六章にて著者の見解を述べて支那中央財政と地方財政の機關の政治經濟的整理に當り如何なる根本的方針を立つべきであるかを示し最後

に中央政府外國租借地及び外人居留地相互間の經濟的關係に就きて論述せり。

◎東洋歴史參考圖譜

歴史教授に當り記憶を深刻ならしめ興味を多からしむる方策は一にして足らずと雖も地圖を使用し歴史圖を掲げて其の遺物遺蹟に親炙せしむるに若くものはなし、從來東洋史の教授に當り此の種の缺陷ありしは何人も認むる所なりしも、日本史西洋史と異なり確實なる史蹟遺物の寫眞を獲るに不便なりし爲、未だ東洋古今を網羅せる統一ある此の種圖譜の刊行を見たることなかりき、本圖譜は此の缺陷を充たすべき一の試にして日本空前の業と謂ふを妨げず、一輯二十二葉十五輯を以て一先づ完了する豫定を以て計畫せられ既に第四輯迄の刊行を見る。資料は能ふ限り正確なるものを選びその寫眞また出來得る限り信頼すべく且つ鮮明なるものを探り、史蹟の眞疑確かならざるも事著名にして談資話柄となすに足るものは之を探り、資を西人の紀行に仰ぎて肅慎靺鞨、天山葱嶺、